



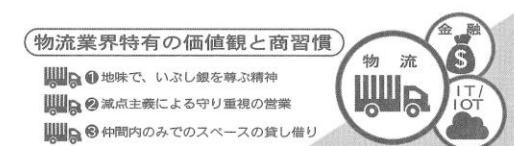
おかげさまで50周年

物流ニッポン

発行/月曜日・木曜日 第4114号

購読料/6カ月30,600円(税別) ※送料別

©物流ニッポン新聞社 2018 (1969年4月1日第3種郵便物認可)



お互いの業界を尊重し合いながら理解をして、物流不動産ビジネスで弱点を強みに変換。高収益化



私が倉庫会社に就職した38年前、新人教育の際に倉庫業の美德を大先輩から教わりました。「倉庫業者はも倉庫物件を多く所有している倉庫業にフォーカスし、品質や価値観を紹介します。

今日は、物流業界の中で最も倉庫物件を多く所有している倉庫業にフォーカスし、品質や価値観を紹介します。規制緩和以降、他業界からの参入があり、業界の雰囲気も大分変わってきましたが、このような教育を受けた人達が、老舗倉庫の現在の経営層です。人柄に厚みを持ち、信用を第一にしています。まはゆい光を放つ黄金よりも、重厚ないぶ

目立つことなく、単純作業をいとわず、額に汗して黙々と反復継続し、縁の下の力持ちとなることが使命である。社会のインフラを支えるプライドを持ちなさい

私は、このよな教育を受けた人達が、老舗倉庫の現在の経営層です。人柄に厚みを持ち、信用を第一にしています。まはゆい光を放つ黄金よりも、重厚ないぶ

目立つことなく、単純作業をいとわず、額に汗して黙々と反復継続し、縁の下の力持ちとなることが使命である。社会のインフラを支えるプライドを持ちなさい

「彼を知り己を知れば百戦殆からず」
孫子の兵法で有名な言葉があります。戦の際、敵と味方の双方について熟知しておけば負ける心配はない。ビジネスにおいても同様、自身と相手のことを深く知る必要性を説いています。物流不動産ビジネスの貸主・借主情報の割合を占めるのが、物流業界です。情報入りに関しては、業界報入れに関しては、業界の品質や商習慣を熟知している皆さまが、優位に立っているのです。

イーソーコ会長 大谷 嶽一

勝ち残るために「物流不動産ビジネス」③

倉庫業と不動産業「対極」

尊重し合い相互理解へ

決断と動きが鈍くなり、外からはやる気が無いように受け取られる場合があります。不動産業界は真逆で、主たる業務である仲介業務(リーシング)は、オフエンス(攻め)重視、速攻、即決、前払いが基本的な考え方です。また、物流業界は情報の価値をあまり評価しない

流れであります。つまり、物流業界は、21世紀に入り、ファンドによる先進物流施設の登場によって、物流業界の意識は変化していきます。これが、物流業界の価値観の変化につながります。

これまで倉庫会社のスペースの貸し借りは、業界の仲間に限定されていました。自社の倉庫スペースが満庫の際、自社扱いの貨物をどうしてもディフェンス(守り)重視になります。しかし、小さなミスをしたときに減算していく減点主義です。貨物を預かった際に責任を持って入出庫や保管の管理をします。が一、貨物の不足や劣化、破損があれば、全て倉庫側で弁済します。

100点満点が当たり前のうまできて当たり前、しかし、小さなミスをしたときに減点されてしまうため、どうしてもディフェンス(守り)重視になります。これまで倉庫会社のスペースの貸し借りは、業界の仲間に限定されていました。自社の倉庫スペースが満庫の際、自社扱いの貨物として、同業者の倉庫に再保管する「再寄託契約」が主流でした。

これまで倉庫会社のスペースの貸し借りは、業界の仲間に限定されていました。恐らく、貨物という実物の移動や保管を行なうこと

URL=http://www.logistics.co.jp

株式会社 物流ニッポン新聞社

編集発行人 山田 晋

東京本社 東京都千代田区平河町1-7-20 ☎03-3221-2345

大阪本社 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-24 ☎06-6779-5655

全国8支局自社ネットワークの物流総合専門紙

札幌 011-756-5006 名古屋 052-251-8301

仙台 022-741-1723 大阪 06-6779-5655

東京 03-3221-2345 広島 082-836-6866

新潟 025-288-5695 福岡 092-474-5858